



# ひよこぐみだより

第6号

平成27年 9月10日(木)

こんがりとやけた子どもたちの顔に、このひと夏で成長を感じている今日この頃。保育士にも慣れ、安心して自分の個性を出すようになってきています。してほしいことも表してきて、保育室に入るとよちよち歩きで一生懸命、両手を前に伸ばし抱っこを求めてくるようになりました。その姿を見ると思わず微笑んで優しい気持ちになります。

てくてくてく ♪



昨日まで1, 2歩しか歩けなかった子どもたちも気がつく保育士のそばまでにこにこしながら歩いてくるようになりました。子どもたちに驚かされる毎日で、この時期のめまぐるしい成長をご両親と共に喜び、感動し合える日々を大切にしていきたいと思います。



手洗いだいすき ♪

今までは食事の前はおしぼりで手を拭いていましたが、ひとりで立つことができる子が増えたので、水道で手を洗うようになりました。

保育士が食事の用意を始めるとあたりまえのように手洗い場に大集合する子どもたち。手洗い場に手が届くようになったので手のひらを上にして保育士が水を出すのを今か今かと手や足を動かして待っています。洗い終わると、手を上にあげてきれいになったことを教えてくれる子もいます。



## 十五夜

空が澄み渡り、月がきれいに見える秋。今年の十五夜は9月27日です。お月見に欠かせないだんごは満月の形を表し、ススキは魔よけの効果があるとされています。家族で月を見ながら話をしたり、月見だんごを食べたりして楽しく過ごすのもいいですね。

担任 中村(亜)・福岡・山田



平成 27 年 9 月 10 日(木)

### 一人で登れるよ！！

園庭のすべり台は子どもたちの人気者です。すべり台をすべるにはとっかかりに足をかけ、手でしっかり握って上に登らなければなりません。とっかかりに自分で足をかけられない子どもは保育士が体を支えたり、抱っこしたりしてすべっています。ある日園庭に行くとHくんとSちゃんがすべり台の上に登っていました。今まで保育士に体を支えてもらい登っていたSちゃんでしたがその日はしっかりした手足でとっかかりを握り足を踏みしめて登っていました。一人ですべり台の上まで登りきると「できた！！」と嬉しそうな言葉と笑顔に私も、「一人で登れたね、すごいね」とその成長と一緒に喜びました。

### リンリンリン

すずを使ってリズム遊びをしました。保育士の弾く『とんぼのめがね』や『おもちゃのチャチャチャ』に合わせてすずを鳴らしています。今後も子どもたちと楽器を使った遊びを楽しんでいきたいです。



### かぜとかぜ

Yくんが風邪で休んでいた日のことです。Yくんがいない事を心配したSくんが「先生、Yくんは？」と聞いてきました。保育士が風邪で休んでいることを伝えると「かぜ～？」と言いながら手をクルッと回していました。Sくんは吹く『風』と思ったようです。日本語って難しいですね。とっても可愛い間違いでした。

### 「おべんとうバス」

ハンバーグくんやトマトちゃんなどお弁当のおかずたちがバスに乗っていきます。バスに乗るときには名前を呼ばれ返事をします。子どもたちも「はい」と返事をしたり、手を挙げておかずたちになりきっています。みんなに遅れてみかんちゃんがバスに乗ると「よかったね」「間に合



担任 今丸、唐木、草場



## ちゅうりっぷぐみだより

H27. 9. 10 (木)

## 「新しいお友だち」

ちゅうりっぷ組に新たにお友だちがやってきました。としおくとよしこちゃんです。一日交代で2人のお世話をしています。その日、お世話をする子どもが誰かわかるようにバッジをつけ、自分の番がいつなのかわかるように表をつくりました。もしかしたら、“私も遊びたかった”と泣く子どもがいるかもしれないなあと思いながら子ども達に話してみました。一日目はあおいちゃんとしゅういちくんの番でした。すると他の子どもたちは、表を見ながら「〇〇はどこ?」「今日はあおいちゃんとしゅうちゃんなん?」と言って納得しているようでした。今では登園してくると「今日、〇〇よねえ(自分の番よねえ。)」と言って嬉しそうに話しています。抱っこして子守唄をうたってあげたり、食事のときは牛乳パックのいすに座らせて一緒に食べたり、お昼寝のときは一緒に寝ています。お兄さん、お姉さんになった気持ちなのかなあと想像しながら子ども達の表情を見てるととてもかわいいです。



## 色水遊び

8月は水遊びや泥遊び、ポディーペインティング、色水遊びなど夏ならではの遊びを楽しみました。色水あそびをしたとき、食紅をつかって赤・青・黄を用意しました。色を混ぜると緑や紫に変わると子ども達の驚きの表情と「おお〜」という感嘆の声が上がりました。子どもたちは自分でもやってみたくらい様子でペットボトルに入った色水を紙コップに注ぎ、色が混ざっていく様子を不思議そうに見ていました。おしろい花を揉んだり、つぶしたりして色が出ることも面白かったようで、「ピンクになったよ。」「きれいやねえ。」と言っていました。



## 「しょうがない」

ある日の食事中、お茶をこぼしてしまった子どもに保育士が「手が当たったね。しょうがない、しょうがない。きれいにしようね。」と言って拭きました。別の日のこと、私が誤ってお茶をこぼしてしまいました。すると「しょうがない、しょうがない。」とTくんの声がしました。

「ありがとう。」と救われた気持ちと思わず笑ってしまった出来事でした。



## ☆第6号☆



# こすもすだより



平成 27 年 9 月 10 日 (木)

夏の間、真っ黒に日焼けした元気いっぱいの子どもたち。それぞれが充実した夏を過ごしたようで「お祭りに行ったよ」「プールに行ってたくさん泳いだよ!」「おばあちゃんの家に行ってたくさんあそんだ!」「セミとかクワガタも捕まえたんよ!」と楽しかった夏の思い出を話していました。

### この虫なーんだ?

園庭で夢中で虫探しをしている子どもたち。「あんまりセミが鳴かなくなったね」「もうすぐ秋になるの?」と季節の変化を感じているようです。石や落ち葉をめくってだんご虫を探したり、じーっと芝生や草むらを見つめ、隠れているバッタを捕まえたりしています。「バッタって秋になったからいっぱいいるの?」「秋になったらこおろぎさんもいっぱいあそびに来るかもね!」と草むらの方からときどき聞こえてくる虫の声に耳を傾け、最近では、虫を見つけると図鑑を持ってきて「今の虫これに似てたね!」「いや、こっちの虫かもしれないよ!」「これは秋の虫かな?」と話しています。

### わたしは小さなお母さん!

保育園ごっこをしていた時のことです。お人形を持ったIちゃんが保育士の所へ来て「すみません。今日はスイミングがあるので早お迎えしますので。お昼寝の後に迎えに来ます。」とお人形を渡してきました。Iちゃんはお母さん役になっていたようで、「Iちゃんお母さんだから仕事が忙しいの」とかばんを持って行ってしまいました。その後何人かの子どもが同じようにお人形を保育士のところへ持ってきたのですが、みんな「今日はちょっとお熱がありますので、お仕事が終わったらすぐに迎えに来ます」「今日はお父さんが3時にお迎えに来ます。お願いします。」と子どもたちのお母さんやお父さんへの思いが感じられました。また、大人びた話し方に驚いたのと同時に、少し背伸びした子どもたちの姿をほほえましく思いました。

### 新しいお友だち♪

9月からこすもすぐみに新しいお友だちを迎えました!  
ぞうが大好きなK・Sくんです。初めは少し緊張していたようですが、  
今ではみんなすっかり仲良しになり、カルタやトランプをしてあそんでいます。



### ◇お願い◇

少しずつ過ごしやすい気候になってきたので、金毘羅山、皿倉山登山に向けて、園外への散歩も計画しています。  
長時間歩くと靴擦れを起こすこともありますので、履き慣れた、歩きやすい靴で登園してくださるようお願いします。

3歳児担任：田中・桑原



## ひまわりだより 9月号

H27.9.10(木) 発行

園庭で遊んでいると、セミの鳴き声が聞こえていたのに聞こえなくなっているのに気付いた子どもたち。「たくさんセミが鳴いていたのにどうしたんかね?」「この前の台風でどこかに行ってしまったんやない?」と子どもたちは季節の変化を感じたようでした。そして、トンボが飛んでいるのを見て「とんぼのめがね」を歌いながらトンボになったように両手を広げて走る子どもたちは、そよ風に触れる心地良さや秋を感じているようでした。



### 「やさしいきもち」

9月に入り、園の近くに大きなドングリのある木がある広場に散歩に行きました。広場に行く途中に「ねこじゃらし」や「つゆくさ」「はるじおん」などの草花があり、ねこじゃらしを摘んでは子どもたちがじゃれ合って歩きました。広場へ着くと枯れ葉や草の中でバッタたちが驚いて、ピョンピョンと飛び跳ね始めました。喜んだ子どもたちとバッタの追いかげごっこの始まりです。



「あ、いた!待って」と言いながら追いかける子どもたち。バッタの速さに追いつかず、肩すかしの子どものたちの中でT君が「みんな!捕まえたよ!」という声に「見せて」と集まる子どもたち。見ると大きなショウリョウバッタでした。「すごい!大きい」とみんなの驚きの声の中、虫の図鑑を広げて「あっ!このバッタやね、一緒だ」と捕まえたバッタと図鑑の写真を見比べていました。園に戻るとT君は虫かごに入っているバッタを見ながら「お母さんに見せたら園庭に逃がそう」と言うと、隣にいた友達が「えー逃がすの」「まだ見ときたい」の言葉に「だってバッタはたくさん草を食べないと死んでしまうもん」とT君。そして「僕がまた捕まえてあげるよ」と思いやりの優しい言葉のやりとりでした。



### ナメクジが大人になったらカタツムリ!?

「ナメクジは子どもで大人になったらカタツムリになるの?」と話しているのを聞いて疑問に感じたK君が「先生そうなん?」と聞いてきたので「先生も分からないな~図鑑にのっていなかったかな?」と言うと「ちょっと見てみよう」と図鑑や虫の本が集められて子どもたちは調べ始めました。なぜ?どうして?の疑問を感じたときには、一緒に想像し考え調べながら子どもたちの持っている力を引き出せるように支えていき、「そうだったんだ」と結論にたどり着くまでのプロセスを大切にしていきたいと思います。

ひまわり組担任: 河内・井上



## たんぽぽだより

H27. 9. 10 (木)

入道雲からちぎれ雲、空の雲が夏の終わりを知らせ秋の訪れを感じさせます。日中の陽ざしが少しずつ早く閉じるようになり夜を早く呼び寄せているような気配を感じています。虫の声も蝉から鈴虫の透き通ったリンリンリーン、マツムシのチンチロチンチロの鳴き声が秋を知らせています。

### 『 学童と交流保育をしました！！ 』



年長児は小学校入学が期待になっています。交流当日は、新しい体験で胸を膨らませていました。活動もゲームや体育遊びをしたりいろいろな遊びを共にしたり昼食時も名前を呼びあったり、年長児の姿は満足しきったような笑顔でした。

私たちもこの交流保育を計画してよい経験となりました。

また一緒に  
あそぼうね☆



### 「 三園交流会 」

9月11日(金)三園交流会があり、ふたば保育園に つばさ保育園と春の町保育園の子ども達が遊びに来ます。いろいろなコーナーに分かれ遊ぶ計画を立てています。

「もう少ししたら遊びに来るね！楽しみだね！」とワクワクしている子ども達です。

今、プレゼントのブローチ作りをしています。「絶対喜んでくれるよね！」とその笑顔を想像ながら作っています。



ブローチ！

### 「頑張って練習しています！」

今、子ども達は「黒田節」「ソーラン節」「花」の踊りの練習をしています。

この秋はひっぱりだこのたんぽぽ組です。施設や舞台での発表の経験は、この秋の経験をより深めるようです。